

伝笑鳩例会<幸 裕 (=交友) 録>(頓珍漢な会話)

1. 「3泊4日で入院しましてん！」

(幸) お前手術で入院してんて？

(裕) そやねん。手術の前日から入院して3泊4日やったわ。「鼠径(そけい)ヘルニア」ちゅうていわゆる「脱腸」やわな。

(幸) そうけい。

(裕) 腸を支える筋肉が経年劣化して腸が下腹部へ垂れ下がんねん。ワテは右側やったわ。

(幸) 薬では治らへん、手術しかないいうやつかいな。

(裕) そやねん。それで思いきって踏み切ってん。手術そのものは1時間位で、腸を持ち上げてネットで支えんねんけど、当日は何も飲まず食わずで<点滴>で栄養補給。手術は全身麻酔やったわ。当日深夜麻酔が切れて痛うてな。ナースコールで痛み止めを点滴に入れてもうたら痛みがひいて眠れた。<天敵>どころか<点滴>サマサマやったわ。

(幸) 術後の経過はええのか？

(裕) しばらくは違和感あったけど、術後1週間の問診でも「経過良好」言うてもろたし、2週間後からジョギングも再開出来たで。

(幸) そりゃ良かった。ワシもお前も身体動かさんと気が滅入る方やさかいな。

(裕) 2週間運動せんとPC・スマホでメールのやり取りしてた時はほんま「気がメール」状態やったで。

2. 「(先月に引続き)<続>新年度4月からのNHK女子アナ物語」

<裕> それにもう一人存在感を増したのが山内泉アナ。金曜～日曜のお昼のニュース担当。2017年入局で慶大卒。今年元日の<能登半島地震>の時、『今すぐ逃げること！』『東日本大震災を思い出して下さい！』と絶叫しはった。当初このアナウンスに対し「怖すぎる」「感情的過ぎて不安になる」とのつぶやきがSNSで続出したが、日本音響研究所の鈴木創さんが『そのアナウンスが必要な人の生命を守るためということを考えて目をつぶって欲しい』とコメントした後は、批判の声が一気に称賛に変わってんて。

<幸> 鈴木創さんによると、2017年に同研究所で行ったアナウンサー有志の勉強会で「正常性バイアスで逃げ遅れの恐れがある人をコタツから立たせて避難させるには、少々感情を込めて危機感を煽(あお)る必要がある」という結論に至ってて、それを実践した訳やな。

<裕> NHKでは通常のニュース担当の他に、地震等の災害に備え控えのアナウンサーが待機してんねんて。今回の山内アナは元日の控え担当やった訳やな。「ヤーマー(いやまー)ウチ(うち)イズミ(いつ見)ても責任持って仕事する立派なアナウンサー」や思うで。

以 上

(大鳥羽 裕太郎)